



10月光の子園だより

保育理念 光の中で愛をもち 支え合い育ち合う

2024年度 年主題 『さあ、漕ぎだそう 奏でよう』

<http://hikarinoko-nursery.jp/>

聖書のみことば

ひとりよりもふたりがいい
(コヘレトの言葉 4章 9節)

月の主題 0歳児『やってみよう』 1. 2歳児『やってみよう』

今月の願い (0歳児)

- ☆保育者と一緒に折ったりさんびかを歌ったりする
- ☆友だちや保育者との関わりを楽しみながら、存分に遊ぶ
- ☆季節の移り変わりを全身で感じる

今月の願い (1・2歳児)

- ☆保育者や友だちと一緒に祈り、賛美することを楽しむ。
- ☆好きなことや興味のあることに取り組む中でつながりを感じる
- ☆戸外で体を動かしながら、遊びを広げていく

朝晩は「お待たせしました！」と言わんばかりの爽やかな秋風が心地よく、真夏のような残暑もようやく落ち着く気配にホッとします。

日が落ちるのも早くなり、私も息子のお迎え時にはもう真っ暗です。そんな保育園からの帰り道、「おつきさまは、僕のことが大好きなのかな～」と空を見上げながら、どこまでも追いかけてくる月を見て呟く息子に思わずクスッと笑みが零れ、そしてふと息子が月に興味を抱くきっかけとなった一冊の絵本との出会いを思い出し懐かしい気持ちになりました。『パパおつきさまとって』の絵本が大好きで何度も何度も読んでいた頃の保育園から帰り道、息子が空を見上げたその瞬間、一瞬目が止まったように感じました。その視線の先には、とびきり綺麗で真ん丸なお月様があり、息子のキラキラと輝く瞳は2倍になっていました。確実に息子の心が動いた瞬間で、「パパ…お、つき…とっ…？ (の絵本のお月さま?)」と、拙い言葉で感動を表現したその姿に、「ほんとだね～、絵本にでてくるお月様と同じくらい大きくてきれいだね～」と言葉を返しながら、私にとってもとても豊かで尊いひと時、心癒された時となったことを鮮明に覚えています。

園でも“絵本と共にある保育”“子どもと絵本との出会い”をととても大切にしています。そんな絵本の読み聞かせの一場面では、Sくんが絵本のお話が面白くて大笑いし、そして隣のお友だちも同じように笑うとそのことがまた嬉しくて、顔を見合わせて笑っていました。また、二人はその後同じ絵本で同じ場面になると(くるぞくるぞ)といった感じでお互い顔を見合わせて、その場面がくると顔を合わせたままケタケタ笑います。二人は大好きな絵本を共有する中で、つながりを感じることに、とにかく嬉しくて楽しくてたまらない様子でした。そして絵本を読んでいた私も、温かく幸せな気持ち

ちになりました。また、やさしい絵本は子どもの心を落ち着かせてくれます。悲しい気持ちを引きずっていたEくんは、絵本にでてくる果物を見ると涙が止まり、保育者がそっと食べ物を子どもの口元まで「どうぞ」と持っていくと、口を小さく開けて食べる真似をし、「ぼく、ぶどう好き」と呟きかわいい笑顔を見せてくれました。

絵本はもちろん子どもにとっては心の栄養となり、時に心を支え、励まし、勇気が与えられることでもあります。読んでいる大人の心にも癒しと幸せをもたらしてくれます。保護者の皆さまにも是非、お子さまをお膝で抱っこし肌の温もりを感じ合いながら絵本の世界を共有できる、愛おしい時間を楽しんでいただきたいと思います。読書の秋、絵本の秋です。どうぞご家庭でも素敵な絵本に出会えますように…。絵本の時間が子どもと子ども、子どもと大人を繋ぐ豊かなものになりますようにと願います。

主幹保育教諭 中橋夏子

光の子認定こども園

神戸市東灘区向洋町中2-3
078-857-1577

10月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7 発育測定 (マナ分園) (ほしふたば)	8	9	10	11	12
13	14 スポーツの日	15 発育測定 (ほしつぼみ)	16	17	18	19
20	21 避難訓練 発育測定 (つきつぼみ)	22 お誕生会	23	24	25	26 こころのひろば・ 親子で遊ぼう (ふたば組)
28	29	30 耳鼻咽喉科健 診	31			

服装について

朝夕は涼しくなってきましたが、日中は日差しが強く、体を動かして遊ぶと汗ばんでいます。日中は半袖で過ごせるように半袖の上に長袖をはおり、調節できる服装で登園して下さい。なお、肌着は冬用ではなく、夏と同じ物で十分です。よろしくお願ひします。